

機織りの町・山梨県富士吉田市のふるさと納税返礼品とコラボレーションした御朱印帳と花束のギフトセットを12月11日(水)より数量限定発売。

御朱印帳は富士吉田の街並みを想わせるオリジナルデザイン2種。

～日比谷花壇が全国の地域の魅力を再発見し、
コラボ企画のプロデュースで地域を応援するプロジェクト第1弾～



『kichijitsu 御朱印帳「123」とそのまま飾れるブーケのセット』



富士吉田市 富士みち(本町通り)

株式会社日比谷花壇(本社:東京都港区、代表取締役社長:宮島浩彰)は、山梨県富士吉田市(市長:堀内茂)のふるさと納税返礼品とコラボレーションし、富士吉田市の名産品である機織りの御朱印帳と日比谷花壇の生花ブーケを組み合わせたギフトセット2種を、日比谷花壇オンラインショップで2024年12月11日(水)から数量限定で販売開始します。本企画は、花とみどりに関する商品・サービスを扱い、地域創生事業を展開する当社が、日本全国の地域の自然・文化・伝統工芸の魅力を再発見し応援していくプログラムの第1弾となります。

■日比谷花壇×富士吉田市 特集ページ:<https://www.hibiyakadan.com/fujiyoshida/>

富士吉田市は富士山の麓に位置し、豊かな自然と伝統工芸が息づく町。1,000年以上前から織物の名産地として広く知られ、織物産業が盛んな“ハタオリマチ”として現在もその歴史が続いています。近年は機織りの伝統を継承する人々が移住してきたことで再び脚光を浴び、歴史と自然が織りなす風景に人々の温もりが溶け込んだ、魅力あふれる地域です。

今回、日比谷花壇のオンラインショップで販売する商品は、富士吉田市で掛け軸の生地や和装小物の生地などを製造する光織物有限会社とデザイナー井上綾によるテキスタイルプロダクトブランド「kichijitsu」とのコラボレーション品です。

御朱印帳は、一富士二鷹三茄子といわれる縁起物を kichijitsuらしいポップなデザインにした「123」と、富士吉田市の街並みを想わせる富士山をバックにしたちどりデザインの「ちどり」の2種をご用意。御朱印帳のデザインに合うピンクの花々をメインに、日比谷花壇専属フローリストによる彩り豊かなブーケを組み合わせたギフトセットに仕上げました。

富士吉田市が誇る伝統工芸と花の美しさを合わせた特別なギフトセットを、お寺や神社巡りが好きな大切な方への新年のお祝いや手土産にいかがでしょうか。

当社は、これまで長年のノウハウをもとにオリジナルフラワーデザインの監修、コラボレーション商品の企画開発等、それぞれの商品やブランドのニーズに合わせたサービスを展開してきました。今後も当社とのコラボレーションによってブランドのさらなる魅力を引き出すデザインや商品を提供し、贈る方も、贈られる方も、花やみどりによって豊かで華やかな日々を過ごしていただけるような取り組みを行ってまいります。

《日比谷花壇×富士吉田市 概要》

注文受付期間:2024年12月11日(水)~2025年1月28日(火)

お届け期間:2024年12月14日(土)~2025年1月31日(金)

■kichijitsu 御朱印帳「123」とそのまま飾れるブーケのセット

価格:7,150円(税込・送料別)

セット内容:

【kichijitsu 御朱印帳「123」】蛇腹仕様 44 ページ、サイズ:11×16cm

【そのまま飾れるブーケ】生花(スプレーバラ、カーネーション、スターチス、グリーン)

サイズ:高さ約20cm、幅約20cm

商品販売ページ:<https://www.hibiyakadan.com/product.html?pskunumber=TS2731>

『kichijitsu 御朱印帳「123」とそのまま飾れるブーケのセット』

■kichijitsu 御朱印帳「ちどり」とそのまま飾れるブーケのセット

価格:7,150円(税込・送料別)

セット内容:

【kichijitsu 御朱印帳「ちどり」】蛇腹仕様 44 ページ、サイズ:11×16cm

【そのまま飾れるブーケ】生花(スプレーバラ、カーネーション、スターチス、グリーン)

サイズ:高さ約20cm、幅約20cm

商品販売ページ:<https://www.hibiyakadan.com/product.html?pskunumber=TS2733>

『kichijitsu 御朱印帳「ちどり」とそのまま飾れるブーケのセット』

■富士吉田市について:<https://www.city.fujiyoshida.yamanashi.jp/>

富士吉田市は、富士山を中心とした豊かな自然を背景に、本市独自の歴史・伝統・文化を培い、富士北麓地域の政治・経済・文化の中心都市として発展して参りました。古くから、富士山信仰の町として栄え、御師文化の面影が今も残されています。また、明治以降、織物が近代産業として脚光を浴びて以来、政治・経済・文化の面で富士北麓の中核都市としての役割を果たしてきました。

株式会社日比谷花壇について:<https://www.hibiya.co.jp/>

1872年創業、1950年に東京・日比谷公園本店の出店後、株式会社日比谷花壇を設立。現在、全国約190拠点で展開。ウエディング装花、店舗及びオンラインショップでの個人/法人向けフラワーギフト・カジュアルフラワーの販売、お葬式サービス、緑を通じた暮らしの景観プロデュース、フラワーグラフィックサービス、地域のまちづくり事業等を行っています。今後も花や緑の販売、装飾にとどまらず、暮らしの明日を彩り、豊かなものへと変えていく提案を続けていきます。